

学会彙報, 奥付

雑誌名	漢文學會々報
巻	28
ページ	73-81
発行年	1969-09-20
URL	http://hdl.handle.net/2241/00149113

學會彙報

○昭和四十三年度 漢文學會總會

〔漢文教育研究会〕 六月二十二日(土) 於都立秋川高校

一、研究授業

戸井田行世氏 二年生、「連城の壁」

二、研究会

第一部

あいさつ 秋川高校長 井上義夫氏

教授者説明、質疑應答、討論

第二部

歐米視察報告 群馬高専教授 水澤利忠氏

あいさつ 漢文學會委員長 鎌田正氏

〔研究発表會〕 六月二十三日(日) 東京教育大學G三〇七號室

一、李煜詞における表現法の特徴 學部 柚木利博氏

一、「白求恩大夫」改訂にみられる周而復のリアリズムの深化

大學院 前田利昭氏

一、鮑照の詩風について 教育大學 向島成美氏

一、晚清における抒情について 武蔵高校 宮内 保氏

一、唐詩における直喩と隱喩について 東葛飾高校 龜原壯夫氏

一、桓譚と王充について 批判主義の系譜

福島大學 大久保隆郎氏

一、君子について 教育大學 高橋 均氏

一、初期魯迅における「人」の概念について

廣島大學 伊藤虎丸氏

一、離魂記について

大東文化大學 内山知也氏

一、王陽明の「自得」について

青山高校 志賀一朗氏

司會 水澤、青木、田部井、横山、松原各委員

〔總會〕

司會 横山委員

一、議長 千原勝美氏を選出

一、委員長あいさつ 鎌田正委員長

一、報告

(1) 庶務報告 横山委員

(2) 研究一部報告 青木委員

(3) 研究二部報告 牛島委員

一、議事

(1) 昭和四十二年度決算 牛島委員

(2) 昭和四十三年度豫算案 牛島委員

右二項全員により承認される

一、委員改選 内山知也、志村和久、中村嘉弘、青木五郎氏當

選

〔懇親會〕

○昭和四十三年、四十四年度委員會委員分擔

委員長 牛島徳次

庶務委員 中村嘉弘、高橋均、大上正美、町田佳津見

會計委員 横山伊勢雄、青木五郎、大橋恵子、金田寛子

研究一委員 志村和久、横山伊勢雄、松尾善弘

研究二委員 内山知也、高橋均、柚木利博

○昭和四十三年度月例會

教育大學における紛争により、四十三年度中に月例會をもつことができなかった。

○昭和四十四年四月十九日の學會委員會において、四十四年度の大

會、總會、漢文教育研究會の開催を九月末に延期することを決定し、全會員に通知した、

○昭和四十四年月例會

○六月二十一日(土) 於豊島振興會館

- 一、荀子の偽について 大學院 中村俊也氏
- 一、漢文教育研究會をめぐるシンポジウム 大學院 松尾善弘氏

問題提起 大學院 松尾善弘氏

司會 横山委員

○七月十九日(土) 於豊島區民センター

- 一、管子書中における法思想について 大學院 兒玉公彦氏
- 一、漢文教育をめぐるシンポジウム 大學院 櫻田芳樹氏

問題提起 大學院 櫻田芳樹氏

司會 横山委員

○昭和四十四年度漢文學教室講義一覽

(一) 一般教育科目

今井助教授 漢文學講讀(思想)

鈴木助教授 漢文學講讀(文學)

(二) 外國語科目

牛島教授 中國語一(文法)

松本助教授 // 一(文法)

陳講師 中國語二(會話)

長谷川講師 // 一(作文)

// // 二(作文)

志村講師 // // 一(文法・作文)

// // // 二(〃)

中村講師 // // 一(讀本)

// // 二(講讀)

庄村講師 // // 一(讀本)

// // 二(講讀)

戸川講師 // // 三(上級)

(三) 専門教育科目

小林教授 中國哲學演習(老子)

// // (學庸章句)

// // (陶靖節集)

鎌田教授 中國哲學概論

// // 中國哲學演習講讀(左傳)

// // 中國哲學演習(孟子集注)

牛島教授 中國言語學演習

// // 中國言語學講讀

鈴木助教授 中國文學史(晚唐)

鈴木助教授 中國文學演習(杜甫)

今井助教授 中國思想史

// // 中國哲學演習(論語集注)

松本助教授 中國言語學演習

// // 中國言語學講讀

横山講師 中國文學演習(蘇賦)

〃〃 (唐宋古文)

〃〃 (現代文學)

川瀬講師 日本漢文學特講

陳講師 中國言語學講讀

尾上講師 中國文學講讀(三言二拍)

前野講師 中國文學講讀(明代文學論)

(四) 大學院科目

小林教授 中國思想史(老子王注)

鎌田教授 中國思想史(春秋學講義)

牛島教授 中國言語學講讀(朱子語類)

鈴木助教授 中國文學(阮籍詠懷詩)

今井助教授 中國思想史(周易正義)

松本助教授 中國言語學講義

横山講師 中國文學講義(詩論)

○昭和四十三年度卒業論文題目

一、古風五十九首と李白

一、左傳引詩考——その賦詩に於ける斷章

取義について——

一、曹禺研究——その戯曲構造を中心として——名波弘彰

一、陶淵明論 藤原善行

一、司馬遷の歴史観について 松原紀子

一、伊藤仁齋の宋學批判 茂木裕美子

一、現代中國語の定語の研究 矢澤宣昭

一、花間集の研究 柚木利博

一、荀子研究——性論を中心として——

一、居延漢簡を中心とした草書の研究 渡部秀一

一、論語に見える孔子の學と修己治人について 岡本政弘

一、黄山谷詩研究——超俗の思想を中心として 豊原章二

一、紅樓夢論 野島進

一、陳獨秀研究 樋口靖

一、陳獨秀研究 松下宏

無求備齋（嚴靈峯）編輯

論語集成 線裝・帙入三〇八册 二〇、〇〇〇圓

白文本八種・全解本二十一種・札記本八十七編・輯佚本十五種・敦煌寫本三種・論語詞典を収む。

孟子十書 線裝・帙入 四二册 一九、八〇〇圓

宋刊本をはじめ孟子の白文、註釋書等善本十種を収む。

老子集成 初編 線裝・帙入 一六〇册

四五、〇〇〇圓

明以前の老子孤本遺編一四〇種を収む。

中國新刊書目録を發行しております。御請求下さい。

東京都文京區本郷六丁目一―十四

東京大學 正門前

琳琅閣書店

電話・(八一二) 六五五五番

唐詩三百首

B 6判 三八〇圓

絶句、律詩、古詩の順に、順序を改め返點を付け、卷末には参考として作者小傳を掲載した。

斯文會訓點 論語

B 6判 二〇〇圓

論語本文(全文)に返點と送り假名付き。

論語集注

璜川吳氏仿宋刊本に返點を付し影印

支那文を讀む爲の漢字典

B 6判 上・下二册 四〇〇圓
B 6判 九八〇圓

鹽谷 溫博士著

唐詩三百首新釋

影印 B 6判 二、八〇〇圓

道教の基礎的研究

福井康順著 一、五〇〇圓

北宋に於ける儒學の展開

麓 保孝著 四、〇〇〇圓

荀子思想論考

藤井專英著 一、〇〇〇圓

書籍文物流通會

〒113 東京都文京區湯島一―四―二五

☎四六〇六 振替東京二一九九六

中國新刊書御案内

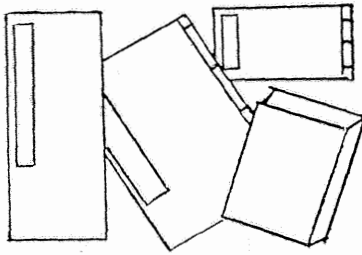
辭源	源	正續合編修訂本	1册	¥ 3,000
辭海	海	大字修訂本	2册	3,360
辭通	通	朱起鳳編	2册	3,600
中國文學大辭典		(原名國文成語辭典)	1册	2,400
中國人名大辭典		商務印書館	1册	4,000
中國古今地名大辭典		〃	1册	2,000
中國文學家大辭典		譚正璧編	1册	4,000
漢語詞典		(國語辭典簡本)	1册	1,440
漢英新辭典		商務印書館	1册	600
增訂綜合英漢大辭典		〃	1册	3,840

山本書店

東京・千代田區神田神保町2-7

TEL (261) 0847-9337

和・漢籍 古書賣買



松雲堂書店

東京都千代田區神田神保町3~1
電話・東京九段 06498

- 基本大學教科研究教材
- 文章軌範詳注全 三島 毅 四五〇圓
- 標注十八史略上 池田四郎次郎 四〇〇圓
- 王陽明傳習錄講本 山田 準 五〇〇圓
- 漢詩作法小講話 濱隆一郎 一二〇圓
- 覆製 菜根譚 三五〇圓
- 影印 春秋左傳異名考・古器圖 三五〇圓
- 纂標 大學中庸章句全 三〇〇圓
- 纂標 瀧川龜太郎 三〇〇圓
- 纂標 論語集註全 五〇〇圓
- 纂標 孟子集註全 六〇〇圓
- 訓注 史記會注考證
- 瀧川龜太郎
- 石川梅次郎・原田種成訓注
- 列傳1 伯夷列傳・老莊申韓列傳 三〇〇圓
- 列傳2 管晏列傳・廉頗藺相如列傳 二五〇圓
- 世家1 孔子世家 四〇〇圓
- これ以外もご注文により發行致します。

中国新文學大系 正編 1—10	1組	32,000円
中国新文學大系 続編 1—10	〃	40,000円
茅 盾 文 集 1—10	〃	9,600円
聞 一 多 全 集 1— 4	〃	12,000円
瞿 秋 白 文 集 1— 4	〃	10,000円
支 那 學 1—13	〃	70,000円
古 史 辯 1— 7	〃	34,000円
漢語拼音詞彙		1,500円

中国圖書専門 内 山 書 店

東京都千代田區神田神保町1—15
 TEL 294—0671 振替東京116786番

■不朽の名著、権威ある本格的漢字典

大字典

上田万年・岡田正之・飯島忠夫・栗田猛猪・飯田伝一 共編

●特装版(A5豪華本)四、五〇〇円

●普及版(B6縮刷版)二、四〇〇円

総三、六三頁

*親字一万七千、熟語十四万/字源の解釈は最も詳しい/実用的な慣用音・名のり・草字彙の記述/当用漢字索引や現代かなづかいの要領など増補

■漢字辞典・用字用語辞典を兼ねた

斬新な国語辞典

講談社国語辞典

久松潜一 林 大 監修
阪倉篤義

●小B6判 総一、三六頁 五五〇円

*総語数七万二千/同音異義語・重要語を*印で指示/故事・成語・慣用句を多数収録/「漢字音訓総覧」など、便利で充実した付録

東京都文京区音羽二一三二二二
振替 東京三九三〇

講談社

高校・一般むき…定評ある小学館の辞典

新選 国語辞典 改訂版

金田一京助・佐伯梅友・大石初太郎 編

総語数七万余、人名・地名・新語も B6小判 一六〇ページ 豊富に取れた総合的な現代国語辞典 特価 四八〇円

新選 漢和辞典 改訂版

東京教育大学教授 小林 信明 編

親字八千五百余、見出し熟語六万余 B6小判 一三二ページ 厳密な解説など、漢文読解に必備 特価 五八〇円

新選 古語辞典 改訂版

東京教育大学教授 中田 祝夫 編

収録語数四万四千、新しい引例、詳 B6小判 一三四ページ 細な出典明示など、古典解明に至便 特価 六〇〇円

上代仮名遣辞典

金田一京助/監修 五十嵐仁一/編

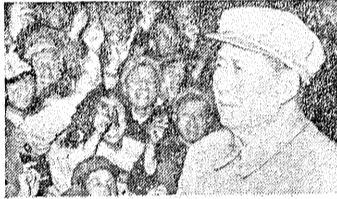
国語辞典の小学館がおくる上代語研究の総結集決定版
推古期から奈良朝末期までの文献から八五〇〇項を採録し、仮名遣の別 B5変型判 一七六ページ を示す。付録「万葉仮名一覽」ほか 価一、八〇〇円

小学館 東京 200番
神橋 振替

●中国革命と現代世界の核心に迫る 講座 現代中国 全3巻

■共同編集 ■執筆者36人

菅沼正久 本州大学経済学部
新島淳良 早稲田大学政治経済学部
西 順蔵 一橋大学社会学部
野原四郎 専修大学文学部



A 5 判・平均360頁 定価 各800円

本講座の特色

- 本講座は、個々の事象を網羅的にとりあげたのではなく、最も問題とすべき特定の事象・人物・思想などを、われわれの問題として、主体的にとりあげ、中国革命と現代世界の核心に迫ろうとしたものです。
- 現代中国の問題は広汎であり、そこに提示された問題は複雑です。本書は、それらに平均的に答えることをせずに、より根本的な問題について、獨創性に富む見解を述べようとしたものです。
- 一九世紀以来の中国で行なわれた主要な論争を詳細に追跡した解説年表を第二巻に、米中・中ソの関係を解説した年表を第一巻に、文化大革命の解説年表を第三巻に収め、現代中国を考える上で必要な資料をほとんど網羅しました。
- プロレタリア文化大革命下に中国で発表・通知された主要な論文を、第一巻と第三巻に収録。

第1巻 現代世界と中国

（10月1日発売）
現代世界における学問、東アジアと中国、米中・中ソ関係、中国と世界革命（第三世界・西アジア・ラテンアメリカ・インドシナ）
（9月20日発売）

第2巻 中国革命

太平天国・義和團・辛亥革命・民主派知識人と国民党・中国共産党の運動と理論・土地革命・農民運動・国家と革命 論争年表など
（9月20日発売）

第3巻 文化大革命

文化大革命の理論・人民公社・社会主義経済建設、プロレタリアの理論と現実・文学・思想・演劇・歴史研究における開争、文革の年表など

10月1日発売

中国語の話し方

奥水 優著 新書判 ¥560
付属テープ 奥水優 編集

吹込 前NHKラジオ講座ゲスト

賈鳳池（麗沢大学講師）
水世嬌（桜美林大学講師）

オープン・カセット

50分 各¥1,600

月刊 中国語 ¥120
毎月1日発売

監修 倉石武四郎

（内容見本進呈）

○東京教育大學漢文學會々則

後記

一、本會は東京教育大學漢文學會と稱し、事務所を東京教育大學漢文學研究室に置く。
二、本會は漢文學及び漢文教育の研究と普及とを圖るのが目的である。
三、本會の會員は左の通りである。

- 1 東京教育大學漢文學・東洋文學及び東京文理科大学、東京高等師範學校の漢文學關係教官（退官者を含む）
- 2 東京教育大學漢文學大學院中國古典學專攻學生及び卒業生、並に東京文理科大学漢文學・東京教育大學東洋文學專攻卒業生
- 3 その他入會を希望する者
- 四、本會の主な事業は左の通りである。
 - 1 總會 年一回
 - 2 例會 年約七回
 - 3 會報及び會員名簿の發行
 - 4 その他必要な事項

- 五、本會の役員は左の通りである。

委員長 一名
委員 若干名
- 六、委員長は本會を代表し委員とともに運営に當る。
委員は本會の研究・庶務・會計を分擔する。
- 七、委員長は委員の互選による。
委員は東京教育大學學部學生中から四名、大學院學生から二名、專任教官から三名、一般會員から四名をそれぞれの互選によつて選出する。その任期は二年（學生委員は一年）とする。但し重任は差し支えない。
- 八、會員は會費年額六百圓、（但し學生は半額）を納める。
- 九、本會會則の變更は委員會の審議を経て、總會出席者の過半数の承認を得なければならぬ。

さまざまな困難はありましたが、會員のご協力により大會の開催、會報の發行にこぎつけられそう、ホツとしております。九月に大會を開くということは、この學會が創られてからいくたびかあつたことなのでしょう。本學會は、昭和七年に産ぶ聲をあげておりますから、今年で三十七歳にもなります。そして、日中間に戦端が開かれたのは、その前年の九月十八日です。（高橋記）

× × ×

漢文學會々報第廿八號

昭和四十四年九月十五日 印刷
昭和四十四年九月二十日 發行

（非賣品）

東京教育大學漢文學會

編輯者

内山知也
高橋均

印刷所

東京都千代田區神田神保町三ノ一〇
株式會社 共立社印刷所
電 〇二〇二八

發行所

東京都文京區大塚三丁廿九一
東京教育大學漢文學會
振替東京四七六〇〇番